

大麦情報(5号)

令和8年4月1日
砺波農林振興センター
JAなんと営農部

1 生育概況

融雪が平年よりやや早くなったため、管内の大麦の**生育進展は平年より2日程度早くなっています**。また、**生育量は平年より少なく**、排水対策が徹底されていないほ場では、葉色が淡くなっています。

今後、気温が平年より高く推移した場合、**止葉展開期は4月6日～11日頃、出穂期は4月16日～21日頃になると予想**されます。

【JAなんと管内大麦ほ場調査結果(3/27 細木)】 ※()は予想

	茎数 (本/㎡)	葉色 (SPAD)	幼穂長 (mm)	葉齢	止葉 展開期	～ (日数)	出穂期
8年産	559	41.7	8.1	12.0	(4月7日)	(10日)	(4月17日)
7年産	859	41.7	3.0	11.0	4月19日	8日	4月27日
平年(過去10年)	782	43.1	13.2	11.8	4月9日	10日	4月19日

2 当面の技術対策

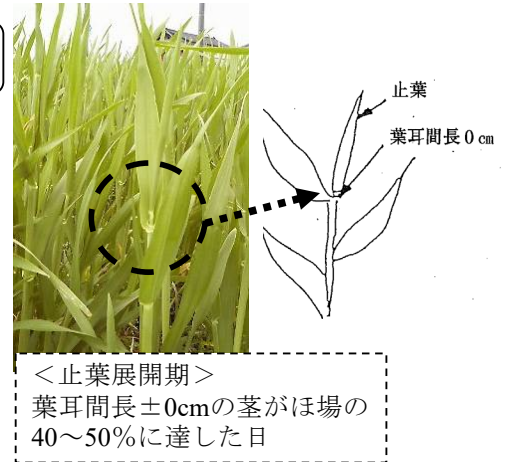
(1) 止葉展開期追肥(分施肥系)

追肥時期が遅れると硝子率が増加し、品質が低下するため、茎数と葉色を確認して、**遅れずに**施用して下さい。

追肥時期の目安 4月6日～4月11日頃

表 止葉展開期の追肥量の目安

葉色 (SPAD値)	予想穂数 (本/㎡)	硫安の追肥量 (10a当たり)
5未満 (45未満)	500本未満	10kg
	500本以上	5～10kg
5以上 (45以上)	500本未満	5kg
	500本以上	追肥しない (ムラ直し程度)



「エコ大麦44号」を施用した場合は、原則追肥は必要ありません

※茎数が少ない場合(500本/㎡以下)などは、JAなんと営農部または砺波農林振興センターへお問い合わせください。

(2) 排水溝、排水口の手直し

一部で停滞水により葉色が淡いほ場が見られます。ほ場毎に排水溝の崩れや排水口への連結、排水口の掘り下げ等を再度手直しし、湿害を確実に回避しましょう。

春の農作業安全運動実施中 3月1日～5月31日

お問い合わせは、JAなんと営農部(62-0261) または
砺波農林振興センター南砺班(32-8147)へ

